

久御山中へデジカメ2台

南都銀行 株アグティが指定 私募債

久御山中学校(布川宏校長)に24日、南都銀行のSDGs私募債を活用して、デジタルカメラ2台が贈られた。

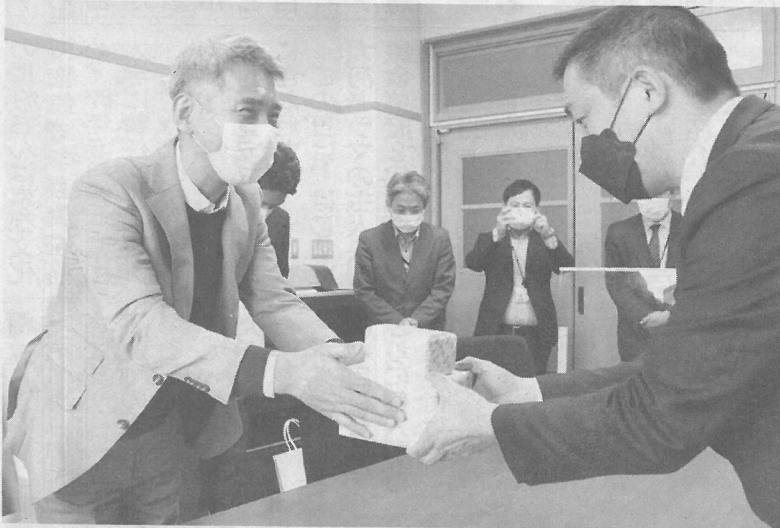
この私募債は、持続可能な開発目標「SDGs」の取り組みに賛同した企業が私募債を発行する際、同行が発行金額の0.2%相当額の資金を拠出し、地方公共団体、学校、病院などに寄贈・寄付するもの。

今回、私募債を発行し、寄贈先に久御山中学校を指定したのは、クリーニング・清掃業(株)アグティ(齊藤徹代表取締役・森村東)。

来、今年で30周年を迎える。00年に久御山町に移転した。

この日、同社の齊藤社長と酒部浩二部長、南都銀行宇治大久保支店の渡邊一夫支店次長、緒方崇法人・事業所担当が同校を訪れ、布川校長に目録とデジタルカメラ2台を手渡した。

「会社は働く人のために存在する」という理念を掲げる同社。齊藤社長は「働く人を幸せにするには地域や社会の健全性が必要。しかし個人でできることには限界がある。会社という『道具』を使っ



布川校長(左)にデジカメを手渡す(株)アグティの齊藤社長(右)

に活用していただければうれしい」とデジカメを託した。布川校長は「大切に使用させていただきます」と感謝した。その後の歓談では、

齊藤社長が佐山小久御山中出身で、中学校では生徒会副会長を務めていたことを打ち明けた。話を進める中で、布川校長が当時の生徒会長だった佐原順司さんが現在、同校の主幹教諭として在任していることを伝えると、齊藤社長が驚き。当時の生徒会正副会長が久しぶりに再会する場面もあった。

布川校長は「こんなに強いつながりがあるとは」と偶然の再会を驚くとともに、「生徒たちに社会に目を向けてもらうと職場体験なども行っている。人とのつながりが希薄化している昨今。このご縁を大切に地域との連携を深めていければ」と、思わぬ縁を喜んで

体の第一義的な仕事と
どとともにチェックし
つつあると施政方針に

誰もが経験する可能性

ン」などの実践を掲げ